学校番号 302

令和5年度 芸術科

教科	芸術	科目	書道Ⅱ	単位数	2 単位	年次	2年次
使用教科書	「書Ⅱ」	(光村図書	불)				
副教材等	なし						

1 担当者からのメッセージ(学習方法等)

- ・昨年同様、芸術科書道では、漢字の書、仮名の書、篆刻、漢字かな交じりの書の分野について幅 広く学習します。先人の残したすばらしい作品から様々な書の技法を学び、自らもまた個性あふれ る作品作りをします。字の上手い、下手にこだわることなく、書への関心を持ち、自分の目標を設 定して意欲的に取り組んでほしいものです。
- ・用具・用材の準備や管理、作品、作品集の提出、これらに留意してください。

2 学習の到達目標

- (1) 書の表現の方法や形式、多様性などについて理解を深めるとともに、書の伝統に基づき、 効果的に表現するための技能を身につけるようにする。
- (2) 書のよさや美しさを感受し、意図に基づいて創造的に構想し個性豊かに表現を工夫したり、 作品や書の伝統と文化の意味や価値を考え、書の美を味わい深くとらえることができるよう にする。
- (3) 主体的に書の創造的な諸活動に取り組み、生涯にわたり書を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、書の伝統と文化に親しみ、書をとおして心豊かな生活や社会を創造していく態度を養う。

3 評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	・書の表現の方法や形式、書表現の多様性などについて理解を深めている。 ・書の伝統に基づき、作品を効果的・創造的に表現するために必要な技能を身に付け、表している。	・書のよさや美しさを感受し、 意図に基づいて創造的に構想 し個性豊かに表現を工夫した り、作品や書の伝統と文化の意 味や価値を考え、書の美を味わ い深く捉えたりしている。	・主体的に書の創造的な諸活動 に取り組み、生涯にわたり書を 愛好する心情を育むとともに、 感性を高め、書の伝統と文化に 親しみ、書を通して心豊かな生 活や社会を創造していく態度 を養おうとしている。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に5段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

※令和4年度以降入学生用

4 学習の活動

学	単			評価方法		
期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	知(a)	思(b)	主(c)
	漢字の書((隷書)	・隷書の学習(基本点画) ・「自分の苗字」 ・「固有名詞」など	a: 隷書の基本的な点画や線質の表し方と用筆・運筆の関係を理解している。 b: 隷書の基本的な点画や線質の表し方と用筆・運筆の関係を理解し、創造的な表現を身に付け表している。 c: 隷書の筆法について、 小グループ内で何が違うか意欲的に話し合おうとしている。	観察	作品 ワークシ ート 作品集	作品 ワークシ ート 作品集
1学期		•「礼器碑」	a:臨書を通して「礼器碑」と「曹全碑」の字形や線質、点画の特徴そしてその違いを理解し、それを表現するための用筆・運筆の技法を理解している。b:「礼器碑」と「曹全碑」の書風を的確に捉え、その美を感受している。b:鑑賞を通して「礼器碑」と「曹全碑」の書風とそれを形成する表現の要素を理解し、臨書に生かしている。c:「礼器碑」と「曹全碑」に関心をもち、その美を味わおうとしている。	観察	作品 ワークシ ート 作品集	作品 ワークシ ート 作品集
		・草書の学習 ・「十七帖」	a:臨書を通して「十七帖」の字形 や線質、点画の特徴を理解し、それを表現するための用筆・運筆の 技法を理解している。 b:「十七帖」の書風を的確に捉え、その美を感受している。 b:鑑賞を通して草書全般の共通 の筆法とそれを形成する表現の 要素を理解し、臨書に生かしている。 c:「十七帖」に関心をもち、その 美を味わおうとしている。	観察	作品 ワークシ ート 作品集	作品 ワークシ ート 作品集

※令和4年度以降入学生用

ロルマー区の件ハナエル								
2	• 仮	・仮名の筆使い	a:仮名の書を構成する様々な要	観察				
2 学 期	名の	•平仮名	素について理解している。		作品	作品		
	書	•変体仮名	b:仮名の書の古典の価値とその		ワークシ	ワークシ		
		•連綿	根拠について考え、書のよさや美		ート	ート		
		「百人一首」	しさを味わって表現している。		作品集	作品集		
		「俳句」	c:自身の表現の意図に基づく表					
			現、仮名の書の表現の特質に基づ					
			く表現をする幅広い表現の学習					
			活動に主体的に取り組もうとし					
			ている。					
	漢	・色紙書き	a:漢字の書を構成する様々な要	観察				
	漢字の書	•「一字書」	素について理解している。		作品	作品		
	書	・「二字書」	b:漢字の書の表現形式に応じた		ワークシ	ワークシ		
		•「三字書」	全体の構成について構想し工夫		ート	ート		
		•「四字書」	している。		作品集	作品集		
			b:感興や意図に応じた個性的な					
			表現について構想し工夫してい					
			る。					
			c:自身の表現の意図に基づく表					
			現、漢字の書の表現の特質に基づ					
			く表現をする幅広い表現の学習					
			に主体的に取り組もうとしてい					
			る。					
	篆刻	「姓名印」	a:篆刻制作の手順を理解し、選	観察				
	刹	朱文	文・検字や布字、運刀に関する知		作品	作品		
			識や技法を理解している。		ワークシ	ワークシ		
			b:姓名印が使われる場面や押印		ート	ート		
			された様子を想定し、表現効果を		作品集	作品集		
			考慮して印稿を作成している。					
			b:様々な種類の姓名印を鑑賞し、					
			表現の工夫とその効果を感じ取					
			るとともに、自分の表現に生かし					
			ている。					
			c: 篆刻に関心をもち、主体的に制					
			作に取り組んでいる。					

※令和4年度以降入学生用

_							
	3	漢	・漢字仮名交じりの書	a:漢字仮名交じりの書を構成す	観察		
	3 学 期	漢字仮	古典を生かした表現	る様々な要素について理解して		作品	作品
		名	自分の意図に応じた表現	いる。		ワークシ	ワークシ
		えじゅ		b:書道Iの学習を踏まえ、漢字仮		ート	ート
		名交じりの書		名交じりの書の目的や用途、表現		作品集	作品集
		音		形式応じた全体の構成について			
				構想し、工夫している。			
				c: 自身の表現の意図に基づく表			
				現、漢字仮名交じりの書の表現の			
				特質に基づく表現をする幅広い			
				表現の学習活動に主体的に取り			
				組もうとしている。			
Ī			・心に響く言葉を書く	a: 漢字仮名交じりの書を構成す	観察		
			・好きな言葉を書く	る様々な要素について理解して		作品	作品
			言葉と書の調和	いる。		ワークシ	ワークシ
				b: 書道 I の学習を踏まえ、感興		ート	ート
				や意図に応じた個性的な表現に		作品集	作品集
				ついて構想し、工夫している。		相互批評	相互批評
				c: 自身の表現の意図に基づく表			
				現、漢字仮名交じりの書の表現の			
				特質に基づく表現をする幅広い			
				表現の学習活動に主体的に取り			
				組もうとしている。			
_							

※ 表中の観点について a:知識・技能 b:思考・判断・表現 c:主体的に学習に取り組む態度